

プログラム名(テーマ) 自然体験と仲間づくりの3日間

目指す児童・生徒像 赤城山の自然に触れ、植物や動物に目を向けられるようになる。、3日間の共同生活により集団のルールや協力、責任を持つことの大切さを学ぶ。

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			<ul style="list-style-type: none"> 学校出発 8時 (バス) 登山 9時 新坂平～地藏岳～小沼 雨天 3日の午前に変更 	弁当	<ul style="list-style-type: none"> 青少年交流の家到着 入所式 13時30分 オリエンテーション ネイチャーゲーム 14時 (色あわせ、宝物探し、etc) 夕べの集い 入浴 	食堂	<ul style="list-style-type: none"> 19時30分～ 星空観察 (雨天) 室内レクリエーション 20時30分 一日の振り返り 個人、グループ 	
			<ul style="list-style-type: none"> 健康調査 3日間の宿泊学習が充実した心に残るようにさせる。 登山の服装の注意点をチェックする。 入所に際して他の利用者に迷惑をかけないように施設のきまりに従って、生活させると共に、誰に対して感謝の気持ちを持って、礼儀正しく接する用に用いる。 		<ul style="list-style-type: none"> 部屋割り、班分けの確認をさせグループ活動をとる。 色あわせ、宝探しの準備と説明。 6人のグループに分かれて行動。 審査は、教師が行う。 入浴時の事故に十分注意する。 		<ul style="list-style-type: none"> 星空観察は、赤城青少年交流の家に頼む。 季節にあった星座を肉眼や望遠鏡で観察し、天体に対する関心・意欲を高める。 一日を振り返り明日への士気を高める。 	
2 日	<ul style="list-style-type: none"> 起床 6時30分 朝の集い 7時 朝食 7時30分 		<ul style="list-style-type: none"> 9時～11時30分 A班 プロジェクトアドベンチャー B班 オリエンテーリング 	食堂	<ul style="list-style-type: none"> 1時30分～4時 B班 プロジェクトアドベンチャー A班 オリエンテーリング キャンプファイヤーの準備 夕べの集い 	食堂	<ul style="list-style-type: none"> 19時～ キャンプファイヤー 雨天 キャンドルファイヤー 入浴 	
			<ul style="list-style-type: none"> 児童、職員の健康状態を十分把握する。 実施上のルールや緊急時の対応について十分に理解させる。 児童が迷いやすいポイントには、教師を配置して安全を確保する。 オリエンテーリング地図 105×8=840 		<ul style="list-style-type: none"> 児童、職員の健康状態を十分把握する。 実施上のルールや緊急時の対応について十分に理解させる。 児童が迷いやすいポイントには、教師を配置して安全を確保する。 オリエンテーリング地図 105×8=840 		<ul style="list-style-type: none"> 薪大(1束) 1000円×4束 トーチ棒セット 200円×5本 灯油 100円 	
3 日	<ul style="list-style-type: none"> 起床 6時30分 朝の集い 7時 朝食 7時30分 荷造り、清掃 		<ul style="list-style-type: none"> 9時～11時30分 グリーンアドベンチャー 11時30分 野外炊事 カレーライス、サラダ 		<ul style="list-style-type: none"> 13時30分 森林ボランティア体験 15時 退所式 16時 学校着 			
			<ul style="list-style-type: none"> 赤城山の木や植物を観察する。 コース図、タオル、飲料水、帽子、雨具、筆記用具 薪小(1束) 400×8=3200円 カレーライス 4240×9=38160円 怪我ややけど、衛生にも注意させる。 使った道具や食器は綺麗に洗わせる。 		<ul style="list-style-type: none"> 片付け 森林ボランティアを行うことにより、自然に目を向けさせる。 施設で働く人たちに対して、感謝の気持ちを持って、あいさつをさせる。 			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) もっと! あかぎ山

目指す児童・生徒像 お互い認め合い・助け合いのできる児童。自然やあかぎの環境に興味をもち、進んで体験活動を行う児童。困難を乗り越え、達成感を味わえる児童。

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日			8:15 学校集合 8:30 学校発 9:15 国立赤城青少年交流の家着 9:30 あかぎ登山(地藏岳)	弁当	～15:20 あかぎ登山(地藏岳) 15:40 入所式・オリエンテーション 16:00 移動・宿泊準備・振り返り 16:30 係別打ち合わせ、キャンプファイヤー準備 17:10 ゆうべの集い	17:30	18:30 キャンプファイヤー準備 19:00 キャンプファイヤー ◎ フォークダンス ◎ 出し物 20:00 キャンプファイヤー終了後片付け 20:30 振り返り(反省会、室長会議)・入浴 22:00 消灯	
目			○グループで協力しながら登山できるように計画を立てる ・指導者は事前に下見を行い、国立赤城青少年交流の家にて事前打ち合わせを行う。 ・登山についての注意点は事前にしっかり指導を行う。 ・バスで赤城の登山口まで移動 ・雨天の場合は、覚満淵散策		・バスで国立赤城青少年交流の家まで移動 ・登山終了後、入所式 ・雨天の場合は、国立赤城青少年交流の家にてお弁当 ・体育館で、アイスブレイク・軽スポーツ大会		・キャンプファイヤーが雨天の場合は、キャンドルファイヤ ・事前に係別の打ち合わせ、キャンプファイヤーに関する注意事項をしっかり指導する。	
2 日	6:30 起床 7:10 朝のつどい	7:30	8:00 清掃 9:30 野外炊飯(カレー、サラダ作り)		13:30 AAP(あかぎアドベンチャープログラム) 16:30 振り返り 16:45 係別打ち合わせ、星空観察準備 17:10 ゆうべの集い	17:30	18:30 星空観察 20:00 振り返り(反省会、室長会議)・入浴 22:00 消灯	
目			・清掃は各班ごとに分担場所を清掃 ・野外炊飯についての注意事項は、事前にしっかり行う。 ・班ごとに協力しながら、けがのないように野外炊事を行えるよう指導者も留意する。 ・野外炊飯の振り返りは、片付けの終わった班から順次行う。		◎AAPは、講師の方に指導をお願いする。 8,000円×4人=32,000円 ・荒天の場合、AAPはアイスブレイク・軽スポーツ大会		・星空観察は、事前に理科の教科と関連付けて事前学習を行っておく。 ・星空観察が終わった班から、部屋に戻り順次振り返り、入浴をする。 ・雨天の場合、研修室で赤城・星空についてのビデオ視聴	
3 日	6:30 起床 7:10 朝のつどい	7:30	8:00 清掃 9:30 あかぎ植物観察 11:30 振り返り	12:00	12:30 荷物の整理・退所準備 13:00 退所式 13:15 国立赤城青少年交流の家発 14:00 学校着			
目			・清掃は各班ごとに分担場所を清掃 ◎あかぎ植物観察は、講師の方をお願いする。 6,000円×1名=6,000円 ・あかぎ植物観察は、事前に理科・総合の教科と関連付けて植物に関するもの・環境に関するものの指導を行っておく。また、学校に戻ってから、振り返りを十分に行う。					

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 共に 自然を感じる 仲間づくり

目指す児童・生徒像 自然の中で心を解放し、思いやりを持って友達に接する。仲間とのつながりを深め、信頼し合おうとする。

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校集合 諸注意 ○ バス移動 ○開校式 オリエンテーション 	食堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 13:00 アイスプレーキング ○ 14:30~ 夕食づくり グループごとにカレーライスを作る 17:30 夕食 →片付け 18:30 片付け終了 	野 外 炊飯	<ul style="list-style-type: none"> ○入浴 ○ 19:30~20:30ナイトハイク 星空観察 ・クラスごと(36人)におこなう 	
					※空いている時間には、キャンプファイヤーの出し物を考えるように伝えておく			
2 日 目	○7:10 朝の集い	食堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 8:30~11:30 活動① AAP / オリエンテーリング ・ 12人グループを各クラス3つ作る。 ・ 学年全部で9グループ ・ 5グループがAAP、4グループがオリエンテーリング ・ オリエンテーリングはさらに半分の6人ずつ ○ 終了後はそれぞれの活動ごとにふりかえり 	弁当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 13:00~16:00 活動② AAP / オリエンテーリング ・ 午前してないほうの活動をグループごとにおこなう ○ 終了後はそれぞれの活動ごとにふりかえり ○ 17:00 タベのつどい 	食堂 17:30 ~ 18:30	<ul style="list-style-type: none"> ○ 17:00~20:30キャンプファイヤー ・児童の出し物を中心としたもの ・ 仲間との信頼関係に気づけるようなプログラム ○ 入浴 	
			<ul style="list-style-type: none"> ※ 仲間作りをメインとするので、AAPだけでなく、オリエンテーリングのグループも出発前に事前の約束事をしっかり確認すること。 ※ AAPは施設の講師をお願いする 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 昼食時などの休憩時間にキャンプファイヤーの出し物を練習しておくように 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 天気がよけれお弁当は外で。グループごとに。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ※ AAPは施設の講師をお願いする 			
3 日 目	○7:10 朝の集い	食堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 掃除、荷物片付け ○ 9:30~12:00 ネイチャーゲーム ・ オリエンテーリングのときの6人グループ ・ 「同じもの探し」「色あわせ」など 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 閉校式 ○ バスで学校へ帰る 			
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師はお願いしない ・ 事前に教員が準備しておくこと 					

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 自然と共存、友と協力

目指す児童・生徒像 自然の尊さ、美しさを知り、自然を愛護する心を育てる。また、仲間と助け合いながら生活することの大切さを学ぶ。

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			学校集合・出発式(8:00) バス移動(8:30～) 地蔵岳登山(山頂で昼食)(10:30～)	12:00 弁当	地蔵岳登山(下山) 覚満淵散策(13:30) 「国立赤城青少年交流の家」到着(15:00) 入所式(15:30) 夕べのつどい(17:00)	17:30 バイキング	星空観察(18:30～20:15) 入浴(20:45～) 消灯(10:00)	
			〈登山のめあて〉 自然をよく観察し、自然に親しみながら登る。友だちと声を掛け合いながら助け合って登る。 ※クラスごとに登山。事前に登山についての注意点を指導しておく(服装、歩き方、有害動植物などの注意)。		※覚満淵では、豊かな自然に目を向け、ゆったりした気持ちで自然に親しむよう、時間をかけて散策する。 ※施設でのきまりや、班で行動する際に気をつけることを事前に指導する。		〈星空観察のめあて〉 自然の中で星を観察することにより、自分が自然の中の一人であることを実感する。 また、自分の住んでいる地域より星が鮮明に見えるため、星座の形や、また、星の動きをよく観察する。 ※夜に歩く時の注意点、服装などを事前指導。	
2 日 目	起床洗面(6:00) 着替え、清掃 朝のつどい(7:10) 朝食(7:30)	7:30 バイキング	野外炊事(カレー作り)(9:00～12:30)	12:30 カレー	AAP(13:00) AAPを終えて、各班でのふりかえり(16:30)	17:30 バイキング	キャンプファイヤー(18:30) 入浴(20:30) 消灯(21:30)	
	※時間を見ながら行動できるようにする。		〈野外炊事のめあて〉 仲間と協力しながら昼食を作る。日頃できない自然の中の炊事を体験し、自然の中で食べる気持ちのよさや、自然を壊さない片づけの仕方などを理解する。 ・各班8～9人、12グループ ・費用 50,880円 ・安全に関する事前指導を行う。(服装、包丁などの調理用具の使い方、ものの運びかた等) ・片づけまでしっかり行うよう指導する。		〈AAPのめあて〉 仲間と助け合いながら活動することで協調性を学び、コミュニケーション力を高め、自己概念を向上させる。 ・各班14～15人 7グループ ・講師依頼 56,000円 ・服装、仲間を否定する言葉を絶対に言わないなど、事前指導を行う。		〈キャンプファイヤーのめあて〉 火や自然に感謝する心を育てる。 楽しんで活動する中で、仲間と協力する心を育てる。 ※林間学校最後の夜を仲間と楽しく過ごすとともに、夜話に耳を傾け、余韻ある一日の終わりになるように配慮する。 ・講師依頼 6,600円 ・中心に火があることをよく理解させて活動させる。	
3 日 目	起床・洗面(6:00) 着替え 荷物整理、清掃 朝のつどい(7:10) 朝食(7:30) 清掃(8:30)	7:30 バイキング	オリエンテーリング(9:00)	12:00 バイキング	ふりかえり(12:45) 退所式(13:45) 「国立赤城青少年交流の家」出発(14:45) 学校到着(16:15) 帰りの式 解散(16:45)			
	※2日間お世話になった感謝の気持ちを持って、来た時よりもきれいに帰るようにする。		〈オリエンテーリングのめあて〉 各班で協力して行動し、協調性を高める。 赤城の自然に親しむ。 ・各班4～5人 ・服装(長袖、長ズボン、軍手、帽子)、山での歩き方、グループが必ず一緒に行動する、地図をよく見てポイントを探すことを事前指導。		※ふりかえりでは、林間学校で学んだことを各班で話し合う。また、学んだことをこれからの生活にどのように生かしていくか考えるようにする。 ※帰りの式では、自然に親しみ、友だちと協力できた3日間であることを振り返るとともに、林間学校でお世話になった人たちや、おうちの人への感謝の気持ちを忘れないようにしたい。			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 大好き自然！大好き仲間！

目指す児童・生徒像 ・自然とふれ合う喜び、自然を愛護する心を持つ児童。 ・仲間との交流を深め、助け合いながら生活することのできる児童。

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1日			7:45 学校集合。 開校式 8:15 学校出発 10:30 赤城山登山口 登山開始	12:00 弁当	12:00 地藏岳登頂 昼食後、頂上で記念写真を撮る。 13:30 小沼から覚満淵までを散策する。 15:00 国立赤城青少年交流の家に到着。 15:30 入所式 終了後、入室・荷物整理。 室長会議。→伝達(係の仕事を実施) 17:10 タベのつどい	17:30 バイキング	18:30 キャンプファイヤー係集合、準備 19:00 キャンプファイヤー(雨天→キャンドル) 21:00 入浴 21:40 ①班長会議 ②室長会議 一日の反省、日記の記入 就寝準備(ベッドメイキング) 22:00 消灯	
目			事前指導 ・集合は、バスケットに各クラス、バスの席順で整列するように指導。(トイレ済み) ・開校式の進行役は、全体の前に出ている。 ・大胡のドライブインで1回、トイレ休憩あり。 ・登山は、上下ジャージ、軍手を着用し開始。 登山めあて 仲間の子と励まし合いながら、頂上をめざそう！ 安全な登り方で、登山を楽しもう！	班で和やかに食事を	事前指導 ・ゴミや食べ残しの処理の仕方を学校でも指導する。 ・下山する際、大沼や小沼が見られたり、覚満淵では水辺の植物が観察できるので、調べておき興味を持たせておく。 留意点 ・交流の家に到着して、初の儀式なのでしっかりとした態度で参加する。	マナーよく食事	事前指導 ・進行役になっている児童は、学校で練習しておく。踊りや歌も全体で何回か実施しておく。 留意点 ・神聖で厳粛な気持で参加できるよう、落ち着いて児童に行動させ、営火場まで引率する。 ・入浴は騒がず、脱衣所に水を垂らさないように事前や当日指導を必ず行う。 ・会議での事は、部屋メンバーに必ず伝えるように言う。	
2日	6:00 起床。 シーツと布団を整える。 健康観察。 荷物の整理。 朝のつどい	7:30 バイキング	8:20 清掃(部屋、廊下、階段、トイレ、洗面所) 9:00 野外炊事(カレー作り) *調理役 *かまど役 に分かれて作業。 ・煮込み段階からは合流しての作業。 11:45 昼食 13:00 までに片付けを済ませる。	11:50 カレー	13:30 AAP 16:30 AAP終了 16:40 部屋に移動し、休憩 17:10 タベのつどい	17:30 バイキング	18:30 ナイトハイク ・施設周辺の遊歩道を利用し、夜の森の音やにおいを感じ取る。昆虫の観察。(おまけにきもだめし。) 20:00 中間ふり返りタイム(班の話し合い) 21:00 入浴 21:40 ①班長会議 ②室長会議 一日の反省、日記の記入 就寝準備 22:00 消灯	
目	留意点 ・ベッドメイクをきちんとさせる。 ・つどいは、他の団体と合同なのでより規律ある態度で参加する。	マナーよく食事	野外炊事めあて ・班のために、自分に任された役割を果たす。 ・協力して、カレーを作りや片付けを行う。 事前指導 ・野菜の切り方を練習し、カレー作りの順序を覚えてくる。(材料は、食堂に注文する。) 留意点 ・長袖着用。包丁の使い方。炎の大きさ調節。	班で和やかに食事を	AAPめあて ・仲間とのコミュニケーション力を高め、協調性を学び、新たな自分に気付く。 留意点 ・講師を依頼する。(7名) 費用56000円(※一般的には5チーム程度までが効果があります。) ・帽子、雨具、長袖、長ズボンの着用。 ・活動班が合同で行う。	マナーよく食事	留意点 ・ナイトハイクは、暗がりなので懐中電灯を持参する。長袖、長ズボン着用。 ・肝試しは、活動班で実施。必ずまとまって行動をする。ゴールはつどいの広場。事前にコースは伝えておく。 ・中間のふり返りは、2日終了し班の行動が目的に対してどうかを、確認し合う。反省点は翌日のオリエンテーリングに生かすよう伝える。	
3日	6:00 起床。 シーツをとり、布団を整える。 健康観察。 荷物の整理。 朝のつどい	7:30 バイキング	8:30 清掃(部屋、廊下、階段、トイレ、洗面所) 各場所の点検 荷物の移動(指定された部屋へ) 9:00 オリエンテーリング ・活動班で実施。 ・班記念写真撮影あり。(橋の上) *レクチャー(交流の家の方にお問い合わせ)を聞く。	12:00 バイキング	13:00 活動のふり返り 14:00 退所式 15:00 国立赤城青少年交流の家出発 17:00 学校到着 閉校式 17:20 解散			
目	留意点 ・決められた通りに布団をたたむ。シーツや枕カバーの数を確認する。(寝具係)	マナーよく食事	オリエンテーリングめあて ・仲間と力を合わせ、ポストを探し出す。 ・大自然を感じ、動植物の様子を観察しよう。 留意点 ・地図、ゼッケン、帽子、タオル、水、雨具を持参し、長袖、長ズボン着用。 ・必ず活動班で行動するように伝える。	マナーよく食事	留意点 ・研修室を借りて、活動班ごとに目的やめあてに対して、良かった点・気づき・感想・今後への実践等を話し合い、班長が記録しておく。→(学校での事後活動で使う。) ・お世話になった、交流の家の方に感謝の気持ちを表す為にも、最後まで規律ある態度をとる。			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 絆 活動班 A班 7人 B班 7人 C班 7人 D班 8人 E班 8人 F班 8人
※ 班名は、児童に決めさせるため、変更あり ※ 1組, 2組混合

目指す児童・生徒像 互いに助け合い、尊重しあえる児童

		◎ めあて ○ 場所 ☆ 講師依頼							
起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他		
1 日 目		8:10 学校集合 A班担当 8:30 学校発 9:30 IC休憩 10:30 施設着 10:30 入所式 ◎これから活動に入る心構えをつくる。 ○ロビー B班担当 オリエンテーション 11:00 施設見学オリエンティング ◎施設各所の位置把握ができる。 ○館内施設各所 ・施設のこれから使う場所に自校職員が立ち、その場所の使い方や特徴について観察クイズをだし、その施設の利用について理解する。	12:00 食堂	13:30 赤城アドベンチャープログラム ◎活動する仲間をよく知り、信頼し合える関係作りができる。 ○PA ロープスコース ☆講師依頼 ・協力する、信頼することを体験する。最後には、必ずふりかえりを行い、みんなの前で発表する。 ・長袖、長ズボン着用 (これからの野外活動全て) ・班は、2班合併 自由行動 16:30 ○宿泊室 17:00 タベの集い C班担当 ○集いの広場	17:20 食堂	19:00 星の観察 ◎星及び星座の位置確認及び山の星空のすごさを体験する。 ○屋根付き広場周辺 ・クラスごとに観察 20:00 終了	20:10 入浴 21:00 班長会議		
				小雨決行 豪雨時 13:30 体育館にて、室内でできるPAを実施 15:00 施設着 ・到着後は、部屋にて詩や作文にて振りかえりをさせる。できたら、すぐに指導者部屋に提出させる。 17:00 タベの集い ○集いの広場 E班担当		雨天時 中止 部屋にて自由行動			
2 日 目	6:00 起床 簡単な清掃 朝の集い D班担当	7:30 食堂	9:00 あかぎ登山D ～15:00 ◎苦しい体験の中、励まし合いながら登山をすることにより、達成感を味わい、友情を深める。 ○地藏岳 ☆講師依頼 (下見によって決定) ・グループ単位で登山させ、前日のAAPの精神をもって、体験学習サイクル・フルバリューコントラクト、チャレンジバイチョイスを意識して実施する。 ・安易な下山がないよう声かけ等で支援していく。 ・事前の準備を入念にチェックする。 ・事前調査で必ずコース、危険箇所を確認。	12:00 山頂弁当	雨天時 アロマキャンドル作り ○研修室 ・時間があれば、フラワーアレンジメントも実施。キャンドル サービスにて利用。	17:20 食堂	18:30～20:00 キャンプファイヤー ◎学校全体で親睦を深めるとともに、その企画・実演を児童自身に行わせることにより、自主性・自発性を養う。 ○多目的フィールド 営火場 ・事前にクラスごとに出し物を用意 ・実行委員を学校で選出し、運営に当たらせる。 ・登山での振り返りの詩や作文で良いものを紹介する。最後に営火長より簡単で短い感動的な話。 営火長 司会長 火守 校長 学年主任 実行委員長 2組担任 養護教諭	20:30 入浴 21:00 班長会議	
			雨天時 ニュースポーツ大会 ○体育館 ・クラス対抗、グループ対抗で考えさせながら実施。最後に振り返り。	12:00 野外弁当		雨天時 キャンドルファイヤー ○研修室 ・アロマキャンドル、フラワーアレンジメントの作品を利用。			
3 日 目	6:00 起床 簡単な清掃 荷物のまとめ 部屋整理	7:30 食堂	9:00 オリエンテーション ◎指導者がいない場面で、助け合い、よりよい信頼関係を築き上げる。 ○施設周辺 11:30 ・今での活動の総仕上げであることを告げる。 ・オリエンテ-リングの採点だけでなくグループの雰囲気、協力等も採点基準に伝える。 ・三日間を振り返って、グループで話し合わせる。その後、発表。	12:00 食堂	13:00 退所式 ◎活動に関する心のけじめをつけるとともにお世話になった方々への感謝の気持ちを養う。 ○ロビー F班担当				
	7:10 朝の集い E班担当 7:20 校内RC ・荷物は所定の場所へ移動。		小雨決行 豪雨時 赤城山エネルギー資料館見学 見学が無理な場合、ゲームレクリエーション ○ エネルギー資料館 or 体育館		13:30 出発 15:30 学校着 15:40 解散				

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 赤城たっぷり体験(自然を見て触れて感じ、そして考えよう)

目指す児童・生徒像 自然の良さに実際に触れそれを感じることで自然(環境)を大事にする児童。自然に恵まれた環境で体験活動を仲間と行うことで人を信頼し協力できる児童。

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			7:40 学校集合 8:00 学校出発 10:00 国立赤城青少年交流の家到着 記念写真・移動 10:30 入校式 オリエンテーション諸注意 11:00 赤城の自然について 自然の役割等プチ講義 &ネイチャーゲーム	12:00 13:00	13:00 AAP (14-5人×6) 講師6人 16:00 休憩(係キャンプファイヤー準備) 17:00 夕食と入浴を済ませる	17:00 18:00	18:30 ～ キャンプファイヤー 20:00 21:00 一日の振り返り 21:30 就寝準備 22:00 消灯	
			到着後記念撮影後に荷物を各部屋に移動し体育館(音楽室)にて入校式を行う。入校式後館内での過ごし方等についてのオリエンテーションを受ける。赤城の自然について学習し、簡単なネイチャーゲームで体験活動を行う。(1班5人編成)		プロジェクトアドベンチャーを行い仲間と協力して困難を克服する成功体験を味わわせ人を信頼する心を育てられるようなプログラムを実施する。		一日の振り返りでは、今日一日の活動を通じたことをしおりに書き、可能であればシェアリングを行う。	
2 日 目	6:00 起床・洗面・身辺整理 7:10 朝の集い ラジオ体操	7:30 8:30	9:00 登山 地蔵岳山頂コース(バス送迎)	お 弁 当	登山 地蔵岳山頂コース(バス送迎) 15:00 16:00 グリーンアドベンチャー 17:00	17:00 18:00	19:00 ～ 星の観察会 20:30 21:00 一日の振り返り 21:30 就寝準備 22:00 消灯	
	6時以前は目が覚めても布団から出ないように指導する。		事前に登山についての指導をしておく。お弁当を注文し各自に持たせて登山に向かう。		下山後振り返り、健康観察を行い休養を取る。グリーンアドベンチャーか色さがし等の1時間程度の体験活動を行い振り返りをする。児童の疲労度によっては簡単なゲーム等に切り替える。		その季節にみられる星座や星を観察し天体に関する興味・関心を高める。星座にまつわる話など。	
3 日 目	6:00 起床・洗面・身辺整理 7:10 朝の集い ラジオ体操	7:30 8:30	10:00 ～ 野外炊飯 昼食 13:00	野 外 炊 事	13:00 掃除・荷物移動 13:30 退校式 14:00 林間学校出発 16:00 学校到着			
	退校式前の荷物移動が円滑に行えるように、片づけられるものは片づけておく。		野外での活動が円滑に行えるように、事前に係分担などを決めておく。また、火傷や怪我についての注意も事前に行う。		部屋の片づけをしっかりとチェックする。			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) みんなで赤城にチャレンジ

目指す児童・生徒像 ・多少困難なことにも友達と話し合い、助け合い、協力し合って乗り越えられる心身共にたくましい児童 友達のよさを素直に認め、自分のよさにも気づける児童

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			<p>○出発式→8:20 目標を確認し、志気を高める。 ○バス移動→レク係によるレク。 途中、ビジターセンターにより、トイレを済ませる。 ○地藏岳登山→10:00 小沼までバスで行き、降車後トイレを済まして、登山口まで歩く。登山口でケガ防止のためストレッチをする。一列でゆっくり歩く。 途中で2回休憩して景色を楽しむ。休憩の際は、水分の補給をさせ、あめ玉1個を配って気持ちにゆとりを持たせる。 山頂でゆっくり休憩(おやつでエネルギー補給)し、山頂からの景色(大沼、小沼、覚満淵、見れば富士山など)を堪能する。 記念写真を撮る。 下山、途中で1回休憩。登山口に着いたら、健康観察をし、ストレッチで体をほぐす。 登山口から小沼周辺まで歩き、小沼で班毎に昼食を食べる。</p> <p>*雨の場合は、ぐんまフラワーパーク見学。(予め、減免申請をしておく。)</p>	<p>小沼周辺で、各自持参のお弁当 12:00</p>	<p>○バス移動(ビジターセンターへ) ○覚満淵散策→13:30 木道をゆっくり散策しながら、地形の特徴、自然や生き物などについて、「発見カード」に記録していく。 グループ写真撮影。 ○バス移動(赤城青少年交流の家へ) ○入校式→15:00 2泊3日の集団での生活が始まる意識を持つ。 オリエンテーション→施設使用上の注意や赤城周辺の環境等について知る。 ○荷物整理→15:30 シーツ等の準備や非常口の確認。各自の荷物の整理、休憩。 (キャンプファイヤ後が忙しいので、布団を敷き2つ折りにしておく。入浴準備もすませておく。) (キャンプファイヤーの準備) ○タベのつどい→17:00 (つどいの広場)</p> <p>*雨の場合も覚満淵散策は実施する。</p>	<p>バイキング 17:30 (食堂)</p>	<p>○キャンプファイヤー→18:20 (営火場) *キャンプファイヤー係は18:00より準備<儀式的な部分> ・18:20 係が先導して入場、隊形を作ったら歌(遠き山に日は落ちて) ・火の子を従えて火の神入場~火の神のことば(火の持つ意義や自然の偉大さ、人生観など) ・分火(火の子はトーチを持って、めあてに開わる約束を1つずつして神から火を移してもらう。) ・点火(火の神の点火の合図によって、火の子は、跪いて井げたに点火する。) ・歌(「燃えろよ燃えろよ」) <親睦的な部分> 座る。 ・花火~キャンプファイヤー係による花火で第2部の雰囲気作りをする。 ・班の出し物(1)~1班、2班 ・ゲーム~「猛獣狩り」(キャンプファイヤー係) ・班の出し物(2)~3班、4班 ・フォークダンス~「マイムマイム」「ジェンカ」 ・花火~みんなで花火 ・歌(「今日の日はさようなら」) ・フィナーレの言葉~退場 *キャンプファイヤー係は、片づけをする。 *雨の場合は、キャンドルファイヤー(AH) ○入浴→19:40 ○健康観察・反省会→20:20(部屋毎) ・検温をし、健康観察する。 ・各自が1日の活動を振り返り、日記を書く。 ・部屋全員で反省会。 ○就寝→21:30</p>	
			<p>めあて：赤城の自然に親しみ郷土愛を深めると共に、みんなで山を踏破することの達成感を共有し、集団の仲間意識を持てるようにする。 留意点：・バス降車前に身支度の確認をする。 ・必要に応じて、虫除けスプレーや日焼け止めを使用させる。 ・ケガ防止のために、健康観察やストレッチを入念に行う。登山に際しては、開始直後は特にゆっくりペースで進み、途中で十分な休憩をとるようにする。 ・体力面やその他で心配のある児童は先頭部分でスタートさせる。 ・指導者は、先頭・中・後尾に配し、支援の必要な児童には1対1対応する。</p>	<p>留意点：ゴミを落とさない。自然の雰囲気を大切にすする。班の仲間と食べる。</p>	<p>めあて：湿原独特の地形・植物・気候などを味わい、バーウォッチングなどを楽しむ。 入校式では、家庭と離れ2泊3日の集団宿泊体験学習が始まるという意識を持たせ、様々なことにチャレンジしていこうという気構えをもたせる。 留意点：・自然に対する配慮事項と一般観光客への配慮事項をマナーとして守らせる。 ・各班毎に「発見カード」を持たせて、「元南小周辺との違い」や「見つけた生き物」「おもしろいもの」などを記録させて、積極的に覚満淵散策ができるようにする。 ・荷物整理が終わったら、弁当のゴミや残りを回収する。 ・タベのつどいでは、自校以外の仲間もいることを意識させ、積極的に接することができるようにする。</p>	<p>留意点：手洗いをしっかりさせる。自分の健康は自分で作る意識でとりわけさせる。 630円</p>	<p>めあて：①厳粛な雰囲気の中で、これから始まる宿泊体験の様々な場面で、友達と協力して精一杯力を発揮し絆を深めることを意識づける。②非日常の中で、みんなで歌・ゲーム・フォークダンスや班毎の出し物を楽しみ、親睦を深める。 留意点：儀式的場部分と親睦的な部分を作り、キャンプファイヤーのめあてを達成できるようにする。班の出し物は、事前に5分以内、小さな物や動きのものはさける、機材や道具を余り使わない、みんなが楽しめる、の条件で相談させておく。 費用：薪1束1000円、トーチ棒セット200円、灯油1リットル100円、花火1500円</p>	
2 日 目	<p>○起床→6:00 ○洗顔・身支度・健康観察 ○朝のつどい→7:10 (つどいの広場)</p>	<p>バイキング 7:30 (食堂)</p>	<p>○清掃→8:10 ○AAP(あかぎアドベンチャープログラム)→9:00~12:00 (多目的フィールド、PAロープスコース等) ・様々なゲームや活動を通して、仲間のコミュニケーション力を高め協調性を学び、自己概念を向上させる。 アイスブレイク~ローエレメント~イニシアティブエレメント *雨の場合は、屋根付き広場で活動。 PAロープスコースでの活動ができない場合は、クップをする。</p>	<p>バイキング 12:30 (食堂)</p>	<p>○あかぎウォークラリー→13:50~16:00 (つどいの広場集合、赤城青少年交流の家周辺) ・交差点などを記載したコース地図と(コマ図)を持ち、設定時間内に走破する。 途中、指令書に従い、仲間と協力し合ってCPの問題を解いていく。 ・つどいの広場をスタートする。 *スタートは、ネイチャーゲームをして合格した班からスタートする。 ・ゴールした班から、振り返りをする。 *雨天決行 ○部屋で休憩、風呂準備等16:15~16:50 ○タベのつどい→17:00 (つどいの広場)</p>	<p>バイキング 17:30 (食堂)</p>	<p>○むささび見隊→18:20~19:40 ・むささびの生態について映像を交えた説明を受けた後、日没後にむささびが巣を飛び立つ様子を観察する。 ・昼間活動した森と夜の森の様子の違いや赤城の夜空等にもふれる。 ○入浴→20:00 ○健康観察・反省会→20:40(部屋毎) ・検温をし、健康観察する。 ・各自が1日の活動を振り返り、日記を書く。 ・部屋全員で反省会。 ○就寝→21:30</p>	

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
2 日 目	<p>めあて：1日の始まりをみんなであげよう迎える。</p> <p>留意点：・出会った人たちに気持ちよくあいさつし、さわやかに1日のスタートがきれるようにする。</p> <p>・部屋からの移動は、部屋毎に自主的に整然とできるようにする。</p>	410円	<p>めあて：・活動を通して、仲間とコミュニケーションを高め、協調性や互いの信頼関係を身につけ、良い人間関係を作る。また、自己概念を肯定的なものへと変容させ、自信を付ける。</p> <p>班編制：2班編制、男女混合の班で、普段の生活で親し過ぎる者同士は同じ班にならないようにする。</p> <p>留意点：・宿泊体験前事前指導の際に、PAでは、『お互いの努力を最大限評価し合う』という約束を確認しておく。</p> <p>・困難な場面で児童自身が気づき、考え、話し合い、協力し実行していけるように、教師は口出しせずに見守るようにする。</p> <p>費用：プログラムに必要な用品類は借用する。 講師2名依頼 8000円×2=16000円 (但し、1名分は事前に市教委の「自然体験活動支援事業」に申請する。) お茶 150円×32=4800円</p> <p>クップの場合は、用具を借り、レクチャーを受ける。</p>	520円	<p>めあて：PAで学んだコミュニケーション力や協調性、仲間への信頼感、自信等を発揮して、自然を楽しみながら、課題に挑戦し、クリアする。</p> <p>班編制：男女混合、5班編制。1班5～6名。 班のメンバーは、その場で発表する。 班内の係(地図、時計、記録、保健など)はその場で相談させる。</p> <p>指導者：交流の家所員の指導を受け、教員が指導する。</p> <p>留意点：・安全確保のための注意をする。 ・「葉あわせ」のネイチャーゲームし、合格した班から、地図・指令書を渡し、3分間隔でスタートさせる。 ・教員はスタート地点と、1番目の班の近く、3番目の班の近く、5番目の班の後ろに配置する。 ・時間の制限はあるが、偶然や他の班のヒントでクリアするよりも、地図と指令書を読み取り、班のメンバーで協力してクリアした方が遙かに充実感や達成感が得られることを話しておく。 ・ゴールした班から、活動中のメンバーのフィードバックをあげさせ、互いに認め合う場を作る。</p> <p>費用：指令書・ゼッケンは借用し、レクチャーは受けるが、講師の依頼はしない。ペットボトルなし。 (班毎に森に入るので、緊急時に備えて水筒に水を入れて持たせる。) 〇円</p>	630円	<p>めあて：二日間親しんだ赤城の夜の様子や象徴的な生き物であるむささびの生態について知り、赤城の自然への親しみや理解を深める。</p> <p>班編制：適した数よりも多くなってしまいが、学級を二分して前半・後半で分け、一緒に活動する。</p> <p>指導者：交流の家所員の指導を受け、教員が補助する。</p> <p>留意点：・むささびがいなくてもあり得るが、映像で学習したり、むささびの巣を観察したりして、むささびの住む環境について考えさせる。</p> <p>・静かな山の夜の雰囲気を味わうと共に、それを損なうことの内容に注意する。</p> <p>費用：懐中電灯・雨具は各自用意する。 〇円</p>	
3 日 目	<p>〇起床→6:00</p> <p>〇洗顔・身支度・健康観察</p> <p>〇朝のつどい→7:10 (つどいの広場)</p>	<p>バイキング 7:30 (食堂)</p>	<p>〇清掃→8:10</p> <p>〇荷物整理・移動→8:40</p> <p>〇野外炊事→9:00</p> <p>・玄関前集合、集合写真撮影、移動。</p> <p>・交流の家所員の説明を受ける。</p> <p>・米とぎ班、野菜切り班、かまど班に分かれて、細かい注意(場所や数、使い方など)を聞いてから、炊事班毎に相談しながら作業する。</p> <p>・11:30後片づけ</p>	<p>野外炊事でカレー 11:00</p>	<p>〇休憩→12:30</p> <p>〇ボランティア活動(交流の家内外の清掃活動・施設の整備)→12:30～13:30 (交流の家及びその周辺)</p> <p>・青少年交流の家内及びその周辺の清掃活動、ゴミ拾い等、要請のあったものを行う。</p> <p>〇退校式→14:00 2泊3日で成長した部分を振り返り、感謝の気持ちを持つ。</p> <p>〇バス移動</p> <p>〇学校着・解散式→15:30</p> <p>・宿泊体験学習を無事終えたこと、そこで得たことを振り返り、学校の人や家の人に報告する。</p>			
	<p>めあて：1日の始まりをみんなであげよう迎える。</p> <p>留意点：・出会った人たちに気持ちよくあいさつし、さわやかに1日のスタートがきれるようにする。</p> <p>・部屋からの移動は、部屋毎に自主的に整然とできるようにする。整列も自主的にし、他の団体の手本となれるようにする。</p>	410円	<p>めあて：2泊3日で学んだ仲間とのコミュニケーション力や主体性、協力や協調、互いを認め合う事などを全て発揮して、みんなであげようカレーを作り、おいしく食べる。</p> <p>班編制：7～8名の4班編制。 (カレーの材料の人数分に合わせる。)</p> <p>指導者：交流の家所員の説明を受け、教員が見守る。</p> <p>留意点：・集団づくり、人間関係づくりのための体験学習のまとめにあたるので、教員は、①安全確保に関わること。②作業に必要な不可欠なことと約束 以外は、説明や注意をなるべくせず、児童に考えさせ相談させるようにする。</p> <p>費用：児童28+教師4=32 32人分 カレーライス8人セット4240円×4=16960(円) ペットボトル茶150×32=4800(円)</p>	1人分 680円	<p>めあて：様々な体験を通して自分たちを成長させてくれた赤城の自然や交流の家、所員の方々に感謝の気持ちを込めて、清掃活動する。</p> <p>班編制：作業内容や場所に合わせて、班編制をする。</p> <p>指導者：作業内容や場所、用具等について、説明はするが班毎に相談・活動させ、教員は見守る。</p> <p>費用：0円 清掃用具は借用する。軍手は野外炊飯時に使用した各自の軍手を使う。</p>			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 自然の中で仲間との絆を深めよう！！

目指す児童・生徒像 自然の中で仲間と楽しみながら協力することのできる児童

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			○入校式 10:30～11:30 ○オリエンテーション 11:30～12:00 ○部屋への移動 12:00～12:30 ○食堂へ移動 12:30～	12:30 ～ 13:30	○プロジェクトアドベンチャー 13:30～16:30 (40名参加 講師3人) 1班 13名 2班 13名 3班 14名	16:30 ～ 17:30	○入浴 17:30～18:00 ○キャンプファイヤー 18:00～20:00 ・歌 遠き山に日は落ちて 燃えるよ燃える ・火之神の登場 ・ゲーム (児童が計画) ・フォークダンス マイムマイム ジンギスカン ○親への手紙を書く 20:00～20:30 ○一日の反省 20:30～21:00 ○消灯 21:30～	
							キャンプファイヤーでは、前半に儀式的な幼をを、後半に親睦的な要素を取り入れ、午後の部で培った信頼関係を更に強いものにする。 ゲームでは、できるだけグループエンカウンター的なものを紹介し子ども達に考えさせる。	
2 日 目	○起床 6:30 ○朝の集い 6:45～7:00 ・ラジオ体操 ・1日目の感想 ○清掃 7:00～7:30	7:30 ～ 8:30	○野外炊事 ・火おこし体験 8:30～10:30 ・野外炊飯 10:30～12:00 (カレーライス作り)	12:00 ～ 13:00	○野外炊事 ・後片付け 13:00～14:00 ○木工クラフト 14:00～17:30 ・バードコールの作成 ・ブーメランの作成	17:30 ～ 18:30	○ナイトウォーク 18:30～20:00 ・自然観察 ・星座観察 ○入浴 20:00～20:30 ○一日の反省 20:30～21:00 ○消灯 21:30～	
			火おこしは、仲間と協力して種火をつくりその日で薪を燃やす、その際、やけどをしないよう十分に留意する。		木工クラフトは両方が完成したら、ブーメランを持ってサッカーコートに行き投げて遊ぶ。その際、安全面には十分に留意する。		午後の部で、つくったバードコールを持たせ、自然の中でならして見る。その際、なくさないよう必ずひもを首からかけさせる。	
3 日 目	○起床 6:30 ○朝の集い 6:45～7:00 ・ラジオ体操 ・1日目の感想 ○清掃 7:00～7:30 ○荷物整理 7:30～8:00	8:00 ～ 9:00	○荷物の整理・移動 9:00～10:00 ○あかぎウォークラリー 10:00～12:00	12:00 ～ 13:00	○退校式 13:00～13:30			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 自然体験活動等を通しての仲間作り

目指す児童・生徒像 自然体験活動を通して 自ら学ぶ意欲や主体的に学ぶ態度を身に付ける。団体生活をする事により、仲間同士に、より望ましい人間関係を作る。

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目	7:30 出発式(校庭) ※雨天時は、体育館で 8:00 学校出発 (バス乗車)		10:30~13:00 「あかぎ登山D(地蔵岳ハイキング)」 ※雨天時は、国立赤城青少年交流の家に学校から直行し、入所式を行う。	弁当	13:30 青少年交流の家到着 14:00 入所式(講堂) オリエンテーション 14:30~16:30 オリエンテーリング(周辺) 17:00 タベのつどい	食堂	19:00~20:30 「ナイトウォーク」 (「星座観察」) ※雨天時は、体育館で「ゲーム・レクリエーション」 21:00 一日のふりかえり(反省) 22:00 消灯	
	・健康観察をし、児童の体調を把握しておく。		・青少年交流の家到着前に登山を行った方が、バスの利用がスムーズになる。 ・登山の準備(リュック、水筒、しおり、軍手、雨具等)		・オリエンテーリングは、活動班で行わせる。つどいの広場集合。 ・走ったりしないよう、安全面にも気をつけさせる。		・ナイトウォークをしながら、日頃、学校の授業(昼間)ではできない、星座観察を行う。	
2 日 目	7:10 朝のつどい	食堂	9:30~12:30 「野外炊飯(カレーライス作り)」 (多目的フィールド)		13:00~16:00 「AAP(あかぎアドベンチャープログラム)」 17:00 タベのつどい	食堂	19:00~20:30 「キャンプファイア」 ※雨天時は、講堂で「キャンドルファイア」 21:00 一日のふりかえり(反省) 22:00 消灯	
			・グループの仲間との協働作業。協力や助け合う態度を身に付けさせる。 ・けが、やけどに気をつけさせる。 ・食中毒予防のため、手洗い等、衛生面にも気をつけさせる。		・活動を通して、仲間とのコミュニケーション力を高め、協調性を学び、自己概念を向上させる。 ・体力面で不安があるときは、見学させる。		・営火を囲みながら、ゲーム、出し物等を行い、仲間と交流・交歓を図る。	
3 日 目	7:10 朝のつどい	食堂	9:00~10:30 「グリーンアドベンチャー」 11:00~12:00 三日間のふりかえり	食堂	13:00 退所式(講堂) 13:30 青少年交流の家出発 14:00 ぐんま昆虫の森(桐生市) 16:30 学校到着 解散式 17:00 解散			
			・有毒な植物等には、触れないよう注意させる。		・ぐんま昆虫の森では、昆虫をテーマにした様々な自然体験活動を行う。			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 達成感を味わい、お互いのよさに気づける体験活動

目指す児童・生徒像 ① 課題を見つけ、いろいろな方法で解決しようとする子 ② めあてをもって粘り強く頑張る子 ③ 人とのふれあいを大切にし、お互いのよさを認め合える子

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目	・各家庭		<ul style="list-style-type: none"> ・学校集合 8:20 ・健康観察 8:30 ・学校発 8:40 ・スクールバスで移動 ・国立赤城青少年の交流の家着 9:40 ・開校式 <p>↓</p> <p>1. オリエンテーリング 10:30～12:00 西コース 「班で協力、離ればなれにならないこと」</p>	弁当 12:30～13:15	13:30～16:30 2. AAP(あかぎアドベンチャープログラム) <ul style="list-style-type: none"> ・雨天の場合 事前に希望しておいた創作活動(土笛, 七宝焼き, 草木染め, アロマキャンドル)に取り組む。 天気により3日目の午前と入れ替える。 ・タベのつどい 17:00～ 	17:30～18:15	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴 18:30～19:30 3. 星空観察 19:30～20:30 ↓ 雨天の場合 国語の「報告文を書こう」のまとめとして午後の活動の報告文を書く。 ・振り返り 「1日の反省しよう」 ・消灯 22:00 	
			◎引率 校長, 教務, 担任, 養護教諭 ○留意事項 ・健康観察 実施前後3日間の健康観察を行う。 当日の健康観察では検温も行う。 ・オリエンテーリング 西コース用のマップを配布 校長はスタート地点, 教務, 担任, 養護はポイントとなる場所に経つ。 ☆準備 筆記用具, 時計, 地図, コンパス, ゼッケン 水筒, 帽子, 雨具,		◎ねらい 活動を通して, 仲間とのコミュニケーション能力を高め, 協調性を学び, 自己概念を向上させる。 ○留意事項 国立赤城青少年の交流の家のスタッフと事前の打ち合わせを十分行う。 ☆準備 ・持ち物・・・帽子, タオル, 雨具 *費用 ・講師・・・2名 8000円×2人 ・雨天の場合 創作活動費用 1000円×30人		◎ねらい 夏の三大角, 北斗七星, カシオペア座等, 理科で学習した星座の確認と, 月の位置の確認をする。(理科担当教師) ○留意事項 ・天気が良ければ夕方の月の位置と20時ごろの月の位置の確認をさせる。 ・デジカメを用意して, 自分が作った作品の写真を撮り, 報告文に貼り付けられるようにする。 ・各部屋ごとに落ちていて1日の振り返りができるように声をかける。	
2	・起床 6:00 洗面・荷物の整理 ・朝のつどい 7:10 代表あいさつ用意	7:30～8:00	4. あかぎ登山 青少年交流の家 発 9:00 ↓ 鍋割高原着 10:30 ↓ 発 11:30 青少年交流の家着 14:00	弁当 12:30～13:00	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩 14:00～15:00 5. 野外炊飯 15:30～17:00 ・タベのつどい 17:00～ 代表あいさつ用意 ・野外炊飯片付け 18:15～19:00 	17:30～18:15	6. キャンプファイヤー 19:00～20:30 1. 開会の言葉 (学級委員) 2. 儀式 3. 歌 4. ゲーム 5. 班の出し物 6. 夜話 7. 閉会の言葉 ・雨天の場合 キャンドルファイア	
			◎ねらい 上毛三山の一つ赤城山登山を通して, 身近な自然に触れ, 動植物に関する知識を確認したり, ねばり強く登山をして, 達成感を味わったりする。 ○留意事項 ・活動前に健康観察を十分行う。 ・国立赤城青少年の交流の家でお弁当を用意してもらう。 ☆準備 水筒, 帽子, 雨具		◎ねらい グループで協力し, 試行錯誤をしながら野外炊飯をし, できあがったものを試食する活動を通して, 友達と協力することの大切さと楽しさを味わう。 ○留意事項 ・協力して仕事に取り組めるように声をかける。 ・怪我, 火傷には十分気を付けるように声をかける。 ・手洗い, 消毒, しっかり火を通すことなど衛生面に注意するように声をかける。 *費用 食材代		◎ねらい キャンプファイヤーの火を囲んで, 歌を歌ったり, ゲームをしたりする活動を通して, 友情を深め, 団結心を養う。 ○留意事項 ・歌やゲームについては, 十分に練習をしておく。 ・班の出し物については事前に内容を把握し, 発表の順番も決めておく。 *費用 薪代 1000円×4束 トーチ代 200円×4本 雨天	

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
3 日 目	<ul style="list-style-type: none"> 起床 6:00 洗面・荷物の整理 朝のつどい 7:10 代表あいさつ用意 清掃 	7:30 ～ 8:00	7. 創作活動A 9:00～12:00 事前に希望しておいた創作活動(土笛, 七宝焼き, 草木染め, アロマキャンドル)に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> 雨天の場合 AAP (あかぎアドベンチャープログラム) 	12:00 ～ 12:45	<ul style="list-style-type: none"> 閉校式 13:00～13:30 1. 開会の言葉 2. 校長先生のお話 3. 青少年交流の家長さんのお話 4. 入所児童代表の言葉 5. 校歌斉唱 6. 閉会の言葉 国立赤城青少年の交流の家発 14:00 ↓ スクールバスで移動 学校着 15:00 			
	○留意事項 「来たときよりも美しく」を目標にお世話になったところはきれいにしよう引率者は分担し見回る。		◎ねらい 子どもたちの作ってみたいという願いをもとに手作りにチャレンジし、手作りのよさを知り、作品を仕上げる喜びを味わう。 ○留意事項 国立赤城青少年の交流の家のスタッフと事前の打ち合わせを十分行う。		○留意事項 ・お世話になった国立赤城青少年の交流の家のスタッフの方々に感謝の気持ちを表しながら、お話を聞いたり、校歌を歌ったりするように声をかける。			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) ふれあい・たすけあい・かよいあい

目指す児童・生徒像 仲間づくりを通して、協力し、より信頼関係を深めることができる。

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			(移動) (近隣の施設見学)	弁当	入所式 オリエンテーション ①ネイチャーゲーム(色あわせなど) ②クッブ ③くまがり(鬼ごっこ) タベのつどい	食堂	キャンプファイヤーの出し物の打ち合わせ (クラスごと) フリータイム	
					◎めあて:仲間とのふれあいを多くとろう。 ・ネイチャーゲーム(色あわせなど)・クッブ・くまがり(鬼ごっこ)は、クラスごとにローテーションする。 ・アイスブレイクを行い、グループ活動がスムーズに行えるようにする。		・1日の振りかえりをする。	
2 日 目	朝のつどい	食堂	A班(45人:15人×3グループ) AAP B班(45人:5人×9グループ) グリーンアドベンチャー	食堂	A班(45人:5人×9グループ) グリーンアドベンチャー B班(45人:15人×3グループ) AAP タベのつどい	食堂	キャンプファイヤー	
			◎めあて:仲間とのコミュニケーション力を高め、協力し合おう。 ・講師の先生の話をよくきく。 ・自分のよいところ、友達のよいところを見つけられるように支援する。		➡		◎めあて:仲間との交流を深め、心をひとつにしよう。 ・火の扱いは、事前に指導しておく。 ・クラスごとの出し物の確認をし、十分に指導しておく。 ・役割分担(営火長、夜話:教頭、司会者:主任、火守り:担任)	
3 日 目	朝のつどい 荷物の整理・清掃 ルームチェック	食堂	野外炊事(カレーライス作り)		退所式 (移動)			
	・来たときよりも美しく!!		◎めあて:協力し合うことの大切さを知ろう。 ・安全面、衛生面に気をつけるよう指導する。 ・役割分担、仕事の内容を十分に把握させてから活動を始める。 ・後片付けをしっかりと行う。					

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 心を一つに仲間作りをしよう

目指す児童・生徒像 集団の中で自分の役割をきちんと果たし、節度ある行動ができる児童をめざして

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日			7:30学校出発 9:30バス下車 10:00地藏岳ハイキング出発 1組から順に出発 11:30下山開始1組、2組、3組のから下山	12:00 ～ 13:00	13:00バス乗車 13:30青少年交流の家到着 14:00入所式 14:30オリエンテーリング 16:00オリエンテーリング終了 部屋へ移動 17:00夕べのつどい 17:30夕食	17:30 ～ 18:30	19:00キャンプファイアー 20:30終了 20:50入浴 1組 2組 21:10 3組 21:40就寝準備・消灯	
目			<ul style="list-style-type: none"> 頂上でクラス毎に写真撮影 10分程度でクラス毎に下山する。 小沼到着後クラス毎に担任の指示ですぐお昼を食べる。 		<ul style="list-style-type: none"> 入所後美化係はシーツ及び枕カバーをリネン室に人数分だけ借りに行く。 オリエンテーリングの集合場所はつどいの広場。 活動班ごとに整列。 終了した班は担任に報告し、解散。 夕べの広場はつどいの広場集合。 夕食は生活班で着席。 		<ul style="list-style-type: none"> キャンプファイアーはセンター棟前広場に集合 入浴後、就寝準備の時に班長会議を行う。時間はその時伝える。 消灯以降は部屋からでない。 部屋の鍵はかけない。 担任は各部屋を巡回する。 	
2 日	6:00起床 7:10朝のつどい	7:30 8:30	9:00AAP(15人×3チーム) グリーンアドベンチャー(45人) 12:00終了 ・3クラスを2つに分け午前中AAPのグループは午後にはグリーンアドベンチャーを行う。	12:30 ～ 13:00	1:30AAP(15人×3チーム) グリーンアドベンチャー(45人) 16:30終了	17:30 ～ 18:30	フリータイム 19:00入浴 20:00入浴終了 21:30就寝準備・消灯	
目	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操をしっかりと行う。 起床から朝食までに部屋毎に掃除をする。 朝のつどいにしっかりと参加する。 		<ul style="list-style-type: none"> 活動班ごとにPAローブスコース集合 		<ul style="list-style-type: none"> 活動班ごとにPAローブスコース集合 		<ul style="list-style-type: none"> 荷物も整理をしてから就寝する。 	
3 日	6:00起床 7:10朝のつどい	7:30 8:30	9:00野外炊飯 カレー作り ・活動班ごとに多目的フィールドに集合 ・できあがった班ごとに食事をする 11:30後かたづけ開始		13:30退所式 14:00青少年交流の家出発			
目	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操をしっかりと行う。 起床から朝食までに部屋毎に掃除をする。 朝のつどいにしっかりと参加する。 掃除をしっかりと行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 後かたづけをしっかりと行う 部屋の掃除をする。 					

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 自然大好き 友達大好き

目指す児童・生徒像 友達と協力して自然に積極的にかかわることを通して、自然のすばらしさや友達の大切さに気づく児童

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日	7:30 出発式 7:40 学校発		9:45～14:15「支えあって地蔵クライミング」 地蔵岳登山 ・登山口までバスで行く。 ・途中お弁当を食べ。記念写真を撮る。		14:30 青少年交流の家着 入校式 ・荷物の整頓 17:00 タベのつどい		19:00 「炎を囲んで友情の火を燃やそう」 キャンプファイヤー 21:00 入浴 就寝準備 22:00就寝	
目	事前学習 ・赤城山や地蔵岳について調べる。 ・林間学校についての学年・班・個人目標を決める。		目標 ・地蔵岳を最後まで歩きとおすことを通して、やりぬいた充実感を得る。 ・雄大な赤城の山々の景色に感動する。 ・体力のない児童のいる班を先頭に班ごとに一列に連なって登る。 ・一定のペースで休憩を適宜取りながら登る。				目標・・・自然の中の炎を囲んで、友達の大切さを再確認する。 ・夕食後レク係はキャンプファイヤーの準備をする。 ・「ピリープ」を肩を組んで歌う。 ・最後の夜話は友情の大切さや自分が周りの人の支えられていると感じさせる話にする。	
2 日	6:30 起床 洗面・清掃 7:10 朝のつどい		9:00～12:00 「支えあってみんなでチャレンジ」 AAP(42名) 「赤城の自然を感じよう」 オリエンテーリング(42名)		13:00～16:00 「赤城の自然を感じよう」 オリエンテーリング(42名) 「支えあってみんなでチャレンジ」 AAP(42名)		19:30～20:45 「スターダストメモリー」 星空観察 21:00 入浴 就寝準備	
目			AAP目標 ・活動を通して仲間とのコミュニケーション能力を深める オリエンテーリング目標 ・友達と協力して課題を解きながら自然の中を活動することを通して、赤木の自然に親しみ、協力の大切さを学ぶ。 ・AAP 1班10名～12名の編成 ・講師4名依頼 ・オリエンテーリング 1班5名～6名の編成で行う。 ・オリエンテーリングは班長に笛を渡す。 ・マップは全員に渡す。		目標 同左 ・AAP 1班10名～12名の編成 ・講師4名依頼 ・オリエンテーリング 1班5名～6名の編成で行う。 ・オリエンテーリングは班長に笛を渡す。 ・マップは全員に渡す。 講師料8,000×4×2=64,000		目標 ・星空の美しさにひたる。 ・暗闇の中で自分が頼るものは友達の肩だけという体験を通して、自分が支えられていることを再確認する。 ・星空観察の場所に行くときに、懐中電灯を消し、班で一列になり肩を持って進む場所を設ける。 ・寝て観察できるようにビニールシートを用意する。	
3 日	6:30 起床 洗面 7:10朝のつどい		8:00 清掃 退所準備 9:00～12:00 「自然の中で協力カレーを作ろう」 野外炊飯(カレー作り)		12:30～13:45 「交流の家を探検しよう」 室内オリエンテーリング 14:00 退校式 16:00 学校着 帰校式			
目			目標 ・協力カレー(みんなで協力して作った今まで食べた中で一番おいしいカレー)をつくることを通して、協力の大切さを学ぶ。 ・後片付けまで含めて「協力カレー作り」であることを理解させる。		目標 ・友達と協力して交流の家に隠されている問題を見つけ解くことを通し、交流の家を知り、協力の大切さを学ぶ。 ・交流の家のいろいろなところに問題を隠し、さらにそれを総合してひとつの解答になるような問題を用意する。 このアクティビティは、雨天で他の活動ができないときに差し替える。		事後指導 ・林間学校で見つけた自分のがんばりや友達のよさを書かせる。 ・オリエンテーリングの表彰を行う。 ・自然の中で自分が見つけた秘密の発表会をする。	

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) チャレンジ! 赤城の自然

目指す児童・生徒像 主体的に活動し、協力し助け合いながら、自分を高めていく児童

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			学校発(7:30) バスで上り口 地蔵岳コース登山(9:00~13:00) 「みんなではげまし合い、助け合って登ろう」	弁当	下山口からバス乗車 入所式(13:30)オリエンテーション 荷物の移動 グリーンアドベンチャー (14:00~16:30) 「自然に親しみ、色々な植物を知ろう」 夕べのつどい(17:00) 班長会議	17:30 ~ 18:30	入浴 星空観察(19:30~20:30) 「宇宙に抱かれた自分を見つめよう」 一日の振り返り (グループで、個人で)	
			・雨天の場合は、登山中止。先に入所式を済ませ、体育館にてレクリエーション ・荷物は宿泊用と登山用(弁当)に分けておく。 ・事前に「登山実施届」を提出 ・リュック、弁当、行動食、タオル、水筒、帽子、雨具、筆記用具、地図、コンパス、ゴミ袋等持参 ・長袖、長ズボン、帽子 ・健康観察、緊急薬品、連絡先等、緊急車両 ・記念写真	山頂にて 弁当	・代表挨拶、校歌等 ・グリーンアドベンチャーコース図 ・タオル、水筒、帽子、雨具、筆記用具、虫除け ・班長への連絡確認事項、 ・シーツの受け取り	650 円 ×5 630 円 ×75	・雨天曇天の場合は体育館にてレクリエーションと夜話 ・振り返りはグループで分かち合い、個人で自分を見つめ直す。新聞作りのための記事のメモ。	
2 日 目	6:30 起床 洗顔・清掃 7:10 朝のつどい	7:30 8:30	あかぎアドベンチャープログラム AAP(9:00~12:00) (PA ロープスコース他) 「チャレンジ、協力して、仲間意識を深めよう」	12:00 13:00	野外炊事 (屋根付き広場) (13:00~17:00) (カレーライス・サラダ作り・デザート) 「協力して、おいしくきれいに作ろう」 できばえ料理コンテスト キャンプファイヤー準備		キャンプファイヤー (営火場) (18:00~20:00) 「火を見つめ、自分を見つめ、友情を深め合おう」 入浴 一日の振り返り	
	・記念写真	420 円 ×5 410 円 ×75	・15人×5班編制 指導者5名要請 8000円×5 ・タオル、水筒、帽子、雨具、虫除け ・健康観察、安全確認	530 円 ×5 520 円 ×75	・カレーライス8人セット10組 4240円×10 ・サラダ用野菜、デザート材料等 ・炊事用薪 10束 400円×10 ・エプロン、三角巾、軍手、長袖 ・調理開始前にレクチャーを行い、安全面に配慮して手際よく作業できるようにする。(鍋にクレンザーを塗る。汚れは拭き取ってから洗う。ゴミは分別。) ・夕べのつどいは不参加、もしくは、代表のみ参加		・薪1束 1000円 トーチ棒セット 200円 灯油1リットル 100円 新聞紙、マッチ、懐中電灯、ラジカセ、出し物準備 ・雨天の場合には体育館にてキャンドルサービス ・料理できばえコンテストの表彰 ・長袖(火の粉で溶けにくい物)、虫除け ・振り返りはグループで分かち合い、個人で自分を見つめ直し、成長を感じる。新聞作りのための記事のメモもしくは、家族への手紙書き。	
3 日 目	6:30 起床 洗顔・清掃 7:10 朝のつどい 荷物整理	7:30 8:30	荷物移動 オリエンテーリング (9:00~12:00) 「協力して、速く正確に探検しよう」	12:00 13:00	ネイチャーゲーム (13:00~15:00) (色合わせ、臭いかぎゲーム、ヒントクイズ・指名手配ゲーム・草花遊び 他) 「全身で自然に親しみ、感性を豊かにしよう」 退所式(15:30) 帰校(17:30)			
	・部屋の掃除と片付け方の確認、シーツ返却	420 円 ×5 410 円 ×75	・オリエンテーリングマップ (コピー80枚) ・ゼッケン・コンパス等の借り受け ・レクチャー ・タオル、水筒、帽子、雨具、筆記用具、マップ ・健康観察、安全確認	530 円 ×5 520 円 ×75	・オリエンテーリング、ネイチャーゲームの結果発表、表彰			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) つなごう絆 挑もう新しい自分に！

目指す児童・生徒像 自分自身が挑戦するとともに、他者を信頼し協力し合う児童

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			7:30 学校出発 10:00 地蔵岳登山	弁当	14:30 入校式 15:00 ネイチャーゲーム 17:00 タベのつどい	レストラン 赤城	19:00 星空観察 21:00 入浴 22:30 就寝	
			仲間と協力しながら登り、赤城山の自然を満喫する。 トランシーバー 5台 携帯用落雷感知器 1台		3日間の心構えを持つようにする。 仲間と協力しながら、自然に親しみ自然のおもしろさ、素晴らしさを体験する。 ・同じもの探し ・色合わせ など		暗闇を体験し、仲間との絆を深めるとともに、星空の美しさを感じる。 星座早見板 懐中電灯 各クラス20分。風呂係はぞうきんを用意。	
2 日 目	6:30 洗面・清掃 7:10 朝のつどい		9:00 野外炊飯	カレー	13:30～16:30 AAP 6グループ (グリーンアドベンチャー) 17:00 タベのつどい	レストラン 赤城	19:00 キャンプ ファイヤー 21:00 入浴 22:30 就寝	
			グループで役割分担を決め、協力してカレー作りをすることによって、仲間の絆をつなぐ。 各グループ 10人 全 9班		仲間との絆をつなぎ、信頼し協力し合うとともに、新しい自分に挑戦する。 3グループごとに交代で行い、裏でグリーンアドベンチャーを行う。 講師3人(8000円×3人)		火を囲んで仲間と楽しく過ごすとともに、3日間で感じた仲間のよさを一人一人が自覚できるようにする。 薪、トーチ、新聞紙、マッチ、灯油、	
3 日 目	6:30 洗面・清掃 7:10 朝のつどい	レストラン 赤城	8:15～9:00 特別清掃 荷物の積み込み 9:40 オリエンテーリング	レストラン 赤城	13:30～14:30 振り返り 分かち合い 15:00 退校式			
			「来た時よりも美しく」次に使う学校の気持ちになって掃除する。 6人グループ 各クラス5班 トランシーバー 5台 地図、ゼッケン、コンパス グループでメンバーの体調に合わせて協力して、ポストを見つける。その時に、思い出新聞に入れる葉や花などを見つけておく。学校に帰ってから「赤城思い出新聞」を作る。			「信頼」「協力」「挑戦」の観点から、自分の振り返りをした後に、グループごとにそれを分かち合い、まとめをする。 3日間お世話になった所員の方々と一緒に活動した仲間への感謝の気持ちが持てるようにする。		

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 自然に親しみ社会性豊かな人間関係を育む

目指す児童・生徒像 自然に親しみ、自然を愛する子 仲間と豊かに関われる子

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1	8:20 学校出発		10:20 エネルギー館見学(トイレ休憩) 10:30 地藏岳登山 11:30 地藏岳山頂クリーン作戦 12:10 小沼散策昼食 雨天時 自然史博物館見学		12:40 小沼～覚満淵ハイキング(植物観察) 13:30 ビジターセンター後見学出発 14:20 入所式・荷物の整理 15:30 施設内オリエンテーリング 17:00 タベの集い 雨天時 自然史博物館から		18:30 キャンプファイヤー準備 19:00 キャンプファイヤー 歌って 踊って 楽しもう 遠き山に日が落ちて 燃えろ燃えろ 等 アルパハムと7人の子 ジングスカン 等 猛獣狩りに行こうよ リスときこり 等 21:30 班長会議 22:00 就寝	雨天時 自然史博物館見学 キャンドルサービス
目			○仲間と助け合いながら登山し、地藏岳の動植物に親しむ。 ○自然に親しむことにより、自然環境について理解する。 <持ち物> ・軍手・水筒・昼食・帽子・雨具 <指導上の留意点> ・服装は長袖・長ズボン・はき慣れたくつ ・1列で追い抜きはさせない。 ・養護の先生は最後部に、体調が悪くなったらその場で付き添いをつけて待たせる。		○自然に親しむことにより、自然環境について理解する。 ○施設にどんなところがあるかを知る。 <準備するもの> ・しおり(部屋割り・館内図確認テック表 等) ・入所式の式次第・ <指導上の留意点> ・定期的に人数確認を班長し報告 ・非常階段の確認 ・生ゴミの回収 ・タベの集いは活動班ごとに整列		○仲間とふれあうことにより、共同精神を高め豊かな信条を育てる。 <準備するもの>	
2	6:00 起床 荷物の整理 6:30 朝の自由散策 7:00 朝の集い		9:00 ウォークラリー ・1班6～7人 各クラス4～5班 ・スタート表にしたがいコース別にスタート		13:00 アドベンチャープログラム(AAP) 1班 15人 クラス2班 17:00 タベの集い		19:00 肝試し 1グループ 男女混合3～4人 20:00 夜空の観察	雨天時 アドベンチャープログラム(AAP) 室内 プラネタリウム
目			○自分の役割を自覚し、仲間と協力しながら、ゴールすることができる。 ○コマ図の読み方を理解し、資料を正確に読み取り行動することができる。 <持ち物・準備> ・軍手・水筒・帽子・雨具・コマ図・しおり ・10円(緊急連絡用) 等 <指導上の留意点> ・ひとりひとりの役割を確認する。 ・コース安全の先生は、担当の場所まで最初のグループについていき、児童担当の先生は、最終グループについていく。 ・迷子になったときは、近くの家をお願いして連絡する。 ・体調が悪くなったら、本部またはポイントの先生に連絡する。その場で付き添いをつけて待たせる。 ・活動班ごとに整列させ、時間差でスタート		○アドベンチャープログラムに挑戦することにより「人を信頼する心」「自己との対峙」「葛藤」「仲間との協力」「達成感」などを味わわせる。 <準備するもの> ・軍手・水筒・雨具 ・ <指導上の留意点> ・施設の人の話を聞き、十分理解してから活動する。 ・タベの集いは活動班ごとに整列		○お互いに助け合いながら行動することができる。 ○星の観察を通して、星座の位置関係を理解しそれぞれの星に名前があることを知る。 <準備するもの> ・懐中電灯・星座早見盤 双眼鏡 等 <指導上の留意点> ・暗くて、安全で(一本道。車が通らない。歩きやすい)ところをクラスごとに確保する。 ・スタートとゴールには必ず教師がいる。 ・星座観察は、明かりのない広場で全体指導してからクラスで観察。	

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
3 日			9：00 グリーンアドベンチャー ・1班6～7人 各クラス4～5班 ・スタート表にしたがいコース別にスタート 11：30 野外炊さん 2班合同で行う		14：00 まとめ・部屋の整理 宿泊学習の感想を書く 14：30 退所式			
目			○植物に関心を持ち、多くの植物と友達になることができる。 ○自分の役割を自覚し、仲間と協力しながら、ゴールすることができる。 <持ち物・準備> ・軍手・水筒・帽子・雨具・グリーンアドベンチャー回答記入表 等 ・野外炊さん等具一式 ・食材 等 <指導上の留意点> ・ひとりひとりの役割を確認する。 ・担当の先生は、最終グループについていく。 ・答えを記入するだけでなく、植物とふれあうことも大切にする。 ・活動班ごとに整列させ、時間差でスタート ・野外炊さんでは、衛生面に十分配慮し、けがややけど失いように十分配慮する。		○3日間の宿泊学習を振り返り、感想を書く。 ○お世話になった、施設の人々に、			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 人間関係を深めるとともに心身を鍛えよう!

目指す児童・生徒像 友だちと協力して自主的に協力する態度を養う。

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目	8:15・学校集合 8:30・学校出発		10:00・ 地藏岳登山 (雨天)大沼湖畔散策 ◎・赤城植物観察(地元ガイド) 12:30・小沼湖畔(弁当)	弁当	13:30・ 覚満淵付近を散策 ◎・あかぎ植物観察(地元ガイド) 15:00・入所式～オリエンテーション *係ごとの会議 *荷物整理 *キャンプの準備 17:00・夕べのつどい	食堂 ₁ 7:30 ～ 16:30	18:30・ キャンプファイヤー 20:30・入浴 21:00・班長会議 *手紙、日記を書く 21:30・消灯	*交流の家でトイレ休憩をしてから、登山口までバスで直行する。
			◎ 地藏岳登山 ・あかぎ山の自然に親しみながら、班員と協力し合って山登りをする。 ・各クラス6班 ・地元ガイドの方の説明を聞きながら、赤城山麓に見られる植物を観察し、その生態を知るとともに自然保護への関心、意欲を高める。 ◎あかぎ自然観察講師依頼(6000円)		◎ 覚満淵付近を散策 ・地元ガイドの方の説明を聞きながら、赤城山麓に見られる植物を観察し、その生態を知るとともに自然保護への関心、意欲を高める。 ・弁当は、はんごとして食べる。ゴミは持ち帰る。 ◎キャンプファイヤーの準備を所員の方と行わせる。 ・特に火の係は、必ず教員と一緒にさせる。		◎ キャンプファイヤー ・雨天の場合は、体育館でキャンドルファイアを行う。 ・自分から積極的に参加し、協力して楽しい思い出を作る。 ◎今日の振り返りをする。書留止めておく。	
2 日 目	6:00・起床 7:00・朝の集い	食堂	9:00・ AAP (A班50人)3グループ ◎講師依頼 3名 ・ オリエンテーリング (B班50人)	食堂	13:30・ オリエンテーリング (A班50人) ・ AAP (B班50人) ◎講師依頼 3名	食堂	18:30・ 星空観察 ◎講師 21:00・班長会議 *手紙、日記を書く 21:30・消灯	
	・健康観察をする。 ・体験活動で使うものをバッグに入れて出発の準備をする。		◎AAPとオリエンテーリングは、クラスを半分にして実施する。 ・AAPでは、講師の指示に従いグループごとに協力して行う陽にさせる。 ・オリエンテーリングでは、リーダーを中心に協力して、統一行動をとるようにさせる。 ◎AAP講師依頼(8000円×3名=24000円)		・午前の部と交代して行う。 ◎AAP講師依頼(8000円×3名=24000円)		◎ 星空観察 ・四季折々に見られる星座を肉眼や望遠鏡で観察し、天体に対する関心・意欲を高める。 ・夜に活動なので衣服には、注意させる。 ・班行動を心がけ、個人で移動しないようにさせる。 ◎星空観察講師依頼(6000円)	
3 日 目	6:00・起床 6:30・シーツ、カバー返却 7:00・朝の集い 8:30・部屋の清掃	食堂	9:30・ 野外炊事	カレー	13:30・ あかぎ野鳥観察 ◎講師依頼 1名 15:00・退所式 15:30・交流の家出発 17:00・学校に到着 解散式			
	・健康観察をする。 ・シーツ、と布団をたたみきれいに掃除をする。 ・忘れ物がないように荷物をバッグに入れる。 ・水筒に水を入れる。 ・荷物を体育館に持って行く。		◎ 野外炊事 ・薪にもやし方や用具の使い方について話を聞く。 ・調理を行う前に手洗い消毒をして、身支度を調べてから始める。 ・けが、やけどに気をつけてみんなで協力して行う。		◎あかぎ野鳥観察 ・地元ガイドの方の説明を聞きながら、赤城山麓に見られる植物を観察し、その生態を知るとともに自然保護への関心、意欲を高める。 ◎あかぎ野鳥観察講師依頼(6000円) ・家の人の迎えを確認する。			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 絆プロジェクト2011

目指す児童・生徒像

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目			<p>○開校式(9:00~)</p> <p>◎めあて 絆プロジェクト2011を成功させる意識を持たせる。</p> <p>○登山(10:00~)</p> <p>・鍋割高原&鍋割山</p> <p>◎めあて 安全面に充分留意し、集団の意識を高めていく</p> <p>-----雨天-----</p> <p>○レクリエーション(体育館)</p> <p>・グループエンカウンター</p>	弁当	<p>○下山(14:00~)</p> <p>・鍋割高原&鍋割山</p> <p>-----</p> <p>○レクリエーション(体育館)</p> <p>・レクリエーション</p>	食堂	<p>○各部屋で休憩</p> <p>○なごみの間で反省</p>	
			<p>☆持ち物</p> <p>・携帯用落雷感知器(1台)</p> <p>・トランシーバー(4台) } 指導者</p> <p>・応急処置のセット(2組) }</p> <p>・携帯電話(各自)</p> <p>・弁当、水筒、セパレートタイプのレインコート</p> <p>帽子、履き慣れた靴【指導者・児童】</p> <p>★事前指導</p> <p>・検温、健康観察後に登山出発</p> <p>・10人×3グループの班に分けておく</p> <p>・水筒の水は口に含んでから飲み、自分の体調を考え、なるべく下山まで、全部を飲まないよう指導する。</p>				<p>★事後指導</p> <p>・検温、健康観察(各部屋)→報告</p> <p>・各班の班長を中心に一日の出来事を振り返り、事後の活動に活かす。(なごみの間)【各班に指導者1名】</p>	
2 日 目	<p>○朝の集い</p> <p>◎めあて 今日の日程の確認をする。</p>		<p>○ネイチャーゲーム</p> <p>◎めあて 赤城山の自然に触れ、楽しく学ぶ。</p>	食堂	<p>○PA(1グループ10人×3グループ)</p> <p>・ヒッコリージャンプ</p> <p>・アイランズ</p> <p>・ニトロクロッシング</p> <p>・ジャイアントシーソー</p> <p>◎めあて 活動を通して、仲間とのコミュニケーションを高め、協調性を学び、事故の概念を向上させる。</p>	食堂	<p>○キャンプファイヤー</p> <p>◎めあて これまで培った絆をより深める。</p> <p>○なごみの間で反省</p>	
			<p>□留意事項</p> <p>・グループ5人×6グループ</p> <p>・色当てゲーム(5食)</p> <p>※指導者準備:色のサンプル5色×5枚</p> <p>・植物当てゲーム(10種類)</p> <p>※指導者準備:所内の植物10種類</p> <p>・指導者3名で審査し、順位はつけるが全員に手作りのメダルを贈呈し、達成感を味合わせる。</p> <p>※指導者準備:6班の全員に手製のメダル</p>		<p>□留意事項</p> <p>・10人×3グループ</p> <p>・ファシリテータをお願いする。(3名)</p> <p>…費用 8,000×3=24,000円</p>		<p>□留意事項</p> <p>・児童のスタンツがメイン</p> <p>・今回のプロジェクトのメインソングGreenの「キセキ」を全員で合唱し、場をスタートする。</p> <p>・「動」と「静」のメリハリをつける。</p> <p>動…グループごと楽しい劇を1グループ7分程度で発表する。</p> <p>静…ファイヤーを囲んで、個々の児童がスピーチする。内容は、今回のプロジェクトで得たことやこれからの生活に活かしたいことなど</p> <p>★事後指導</p> <p>・検温、健康観察(各部屋)→報告</p> <p>・各班の班長を中心に一日の出来事を振り返り、事後の活動に活かす。(なごみの間)【各班に指導者1名】</p>	
3 日 目	<p>○朝の集い</p> <p>◎めあて 今日の日程の確認をする。</p>		<p>○朝の集い</p> <p>○野外炊飯</p> <p>◎めあて 自然の中で食物を煮炊きする共同体験を通し、食生活を築くことや、互いに協力志合うことの大切さを体験する。</p>	食堂	<p>○退校式</p> <p>◎めあて 絆プロジェクト2011を成功させた達成感を味わわせる。</p>			
			<p>□留意点</p> <p>・安全、衛生面に充分注意させる。</p>	炊事場				

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 仲間と協力し、創意工夫して活動する 自然に親しむ

目指す児童・生徒像 仲間と協力しながら、創意工夫して活動する児童 自然のすばらしさを感じることができる児童

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目	集 合 8:00 学校出発 8:15		入所式 9:00 荷物の整理・登山準備 9:30 赤城登山(地藏岳) 10:15～	お弁当	【図画工作】 14:00～16:30 ○しおりの表紙をつくらう		夕べの集い 17:00～17:30 【学級活動】 室内レクリエーション 19:00～19:45 一日の反省	
	○健康観察と人数の確認を行う。 ○学年で、めあて(仲間と協力し、創意工夫して活動する・自然のすばらしさを感じてくる)、注意事項などを確認して出発する。		<ねらい>赤城山の自然に親しみ、心身の鍛錬や健康の増進を図り、物事に粘り強く立ち向かう気力や体力を育てる。 ○ 歩き方、水分の取り方、草花をむやみに採らないなどの注意をする。 ○ クラス毎に歩いていく。先頭は、担任が行う。 ○ 山頂でクラス写真を撮る。		<ねらい>地藏岳登山での感動を、しおりの表紙に描かせ、自然の様子を振り返らせる。 ○ 登山の写真をプリントアウトし、児童に配る。		<ねらい>日頃から行っているクラス遊びを発展させ、広い場所や大人数でできる遊びを考え、準備し、実際に行わせることで、仲間との協力や創意工夫する力を育てる。 ○ クラス遊びを発展させた形で、遊びを考えさせる。できるだけ、赤城山に関連させた遊びを考えさせる。 ○ 事前にクラス毎に内容を考えて準備させ、スムーズに行えるようにする。 ○司会・進行も児童が行えるように、指導しておく。 ○一日の反省は、よかったこと・課題などを個人で考えさせた後に、グループで話し合わせる。	
2 日 目	朝の集い 7:10～ 清掃		① AAP(あかぎアドベンチャープログラム) 9:00～ ② オリエンテーリング 9:00～		① オリエンテーリング 13:00～ ② AAP(あかぎアドベンチャープログラム) 13:00～		夕べの集い 17:00～17:30 キャンプファイアー (営火場) 19:00～ ・クラスの出し物 一日の反省	
	○ 活動時間に合うように、5分前行動させる。		<ねらい> ① AAP 活動を通して、仲間とのコミュニケーション力を高め、協調性を学ばせ、自己存在感を味わわせる。 ② オリエンテーション グループで役割分担して協力しながら、専用地図とコンパスを使って設定時間内にポストを探し出し、ポスト記号を記入することにより、協調性や課題解決力を育てる。 ○グループは、児童の人間関係を配慮して考える。		○ グループ15人ずつ ○ 人数が多いため午前と午後に分けて、活動を交替する形で行う。(1・2組と3・4組で行う) ○ AAP講師にお願いする。 ○ AAP講師指導8000円 オリエンテーリングマップ105円		<ねらい> 普段目にする事のない赤々と燃える営火を囲みながら、学年でゲームやダンスを行い、仲間と交流し、楽しいひと時を過ごさせる。 ○ 火を扱うので、教師の役割分担をしっかりと行う。 ○ 避難経路を確認し、確保しておく。 ○ 児童に注意事項を徹底させる。 ○ クラス毎に楽しい出し物を考えさせる。	
3 日 目	朝の集い 7:10～ 清掃・荷物整理		【家庭】 野外炊飯 9:00～ ・ご飯とカレー作り	野外炊飯	出発準備 退所式 13:00 赤城青少年交流の家発 13:40 学校着 14:10 解 散 14:30			
	○ 活動時間に合うように、5分前行動させる。 ○ 布団のたたみ方をチェックする。		<めあて>既習の家庭科の学習を生かしながら、自然の中で食物を煮炊きする共同体験を通し、自分の食生活を振り返るとともに、互いに協力し合う力を育てる。 ○ 安全(けが・やけど)や衛生面に注意させる。 ○ 1グループ5人ずつの6班編成(1クラス)で行う。		○ 「きた時よりも美しく」を心がけて、片づけ・退所準備をする。 ○ お世話になった方々、施設に感謝の気持ちをもって、退所できるようにする。			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 自然に親しみながら友達の輪をひろげよう

目指す児童・生徒像 自ら進んで活動できる子 なかよく力を合わせてがんばることができる子 自然のすばらしさに気づくことができる子

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日			8:20 学校集合 8:30 出発式 9:00 学校出発 10:00 エネルギーセンター到着 地蔵岳登山開始 12:00 小沼到着	12:00~ 13:00 小沼 週で 食	13:10 鳥居峠を下り覚満淵散策 赤城山ビジターセンター見学 14:00 バスで移動 14:20 交流の家到着 14:30 入所式 (開校式) 14:50 部屋に移動 15:10 創作活動(箸づくり) 17:00 タベのつどい	夕食	19:00~20:00 キャンプファイヤー 入浴 就寝準備 消灯	職員打ち合わせ
目			集合時点呼・欠席の確認 下車時は登山をするのに荷物を軽くするため弁当をシートに置き、リュック・水筒・帽子を持っていく。 登山(下山後小沼駐車場待機のバスにお弁当を取りに行く)バス降車後、駐車場脇に整列待機。登山口まで移動(一列) 校長先生・養護教諭(緊急用車両)は小沼駐車場に置き小沼登山口から入山。頂上で待機(児童万一の際頂上養護教諭に連絡)		ビジターセンターではあかぎ山の歴史、自然にふれる到着後交流の家所員との事前打ち合わせ(主任)バス降車後、駐車場脇に整列待機。上履きを出しておき、整列させる。下駄箱の指示と音楽室までの誘導(担任)おし花づくりでは植物を観察して見つけるとともに思い出となるよう色紙はって持ち帰る。帰校後、国語の時間にその色紙に詩を作って書くようにする。クラスごと時間をずらして行う。	食入口手洗いの指示	キャンプファイヤーは儀式的な厳粛さと親睦的な楽しみを合わせ、これからの学校生活や人間関係、自分を振り返る場になるようにする。キャンプファイヤー前には係打ち合わせをして準備をする。集いの広場に集まり、クラスごとに整列。多目的フィールドに移動 終了後、入浴。入浴後、脱衣所・浴室の見回りをする。	係の仕事や役割分担がしっかりでき、協力してできているかどうかをよくみる。
2 日	6:30 洗面 寝具の整理 7:00 朝のつどい	朝食	清掃 9:00 ~12:00 AAP(あかぎアドベンチャープログラム)	昼食	13:30~16:30 オリエンテーリング 17:00 タベのつどい	夕食	入浴 19:00~20:00 星空観察(ナイトウォーク) 就寝準備 消灯	
目	各担任ほか教員が声かけをする。		朝それぞれの分担場所を清掃する。 AAP担当の方の指示をよく聞くようにする。 5グループに分けて活動する。 AAPでは自分に挑戦するとともに達成感や友達との協力、輪、楽しみが実感できるようにし、次のオリエンテーリングのチームワークや帰校後の生活に生かせるようにする。		オリエンテーリングでは仲間と協力して活動できるようにグループ分けに配慮し最後まであきらめずにがんばることができるようにする。 オリエンテーリングの班で整列する。 交流の家所員の説明を聞く。 地図や方位磁針、ゼッケンを配布する。 終了後、時間があれば自由時間とする。		既習したことを星座早見板を使って確認したり、少し歩いたりする。最後は夜話をして振り返りをする時間をもうけたりする。 夜なので足元、着衣に気をつけさせる。	
3 日	6:30 起床・洗面 7:00 朝のつどい	朝食	寝具の整理 8:40 清掃・点検 9:30~野外炊事		12:30 野外炊事片付け 13:00 ネイチャーゲーム植物観察(色あわせ) 13:30 林間学校のみとめ 14:00 移動・退所式(閉校式) 15:00 学校着・帰校式 15:15 解散			
目			所員の説明を聞き、けが、事故のないよう協力してできるようにする。 班ごといただきますをする。協力して作る喜びや野外での食事を楽しむことができるようにする。		協力して用具の片付けやごみの片付けをする。 色あわせをして植物の色のおもしろさに気づく。 林間学校を振り返りまとめをする。			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 友達との絆を深めよう

目指す児童・生徒像 思いやりの気持ちを持って友達と協力して仲良く活動したり、自主的に行動できる児童

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目	学校出発		入所式 あかぎ登山D（地藏岳）	弁当	あかぎ登山D（地藏岳） オリエンテーション 夕べのつどい		キャンプファイヤー 1日のふりかえり	
			<ul style="list-style-type: none"> 施設に到着後入所式を行い、なるべく早く登山に出発できるようにする。 行きの新坂平までと、帰りの赤城大洞からは貸切バスを利用する。 服装や持ち物マナー等について事前に十分指導してくるが、歩き方や安全面についての注意事項を出発前に再度確認する。 グループの仲間同士で声をかけ合い、励まし合ったりしながら全員で楽しく安全に登山ができるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 登山終了後に、施設の使い方や過ごし方についてのオリエンテーションを行い、他の団体に迷惑をかけたらずに、お互いに気持ちよく過ごせるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 静寂さや厳粛さを感じさせつつ、友達と楽しく交流できるようにする。 進行は児童主体で行うが、スムーズに進められるよう適宜支援する。 暗い中で火を使うので、近づきすぎたりしないよう、安全面には十分注意する。 児童の心に残るような夜話を準備しておく。 	
2 日 目	朝のつどい		(A班) ネイチャーゲーム（いろあわせ） あかぎウォークラリー (B班) AAP		(A班) AAP (B班) ネイチャーゲーム（いろあわせ） あかぎウォークラリー 夕べのつどい		星空観察 1日のふりかえり	
			(A班) <ul style="list-style-type: none"> ウォークラリーの前段階として「いろあわせ」を短時間で行い、チームの協力体制を整えるようにする。 ウォークラリーでは、危険な場所や林の間などに入らないようにさせる。 道に迷ったら下に行くようにして、広い道や民家のあるところに出るように伝えておく。 どちらも、班で協力しあって活動させるようにする。 		(B班) <ul style="list-style-type: none"> 講師の方の説明をよく聞かせ、安全に楽しく活動できるようにする。 仲間とのコミュニケーションをうまく取りながら、協力して達成感や成就感が味わえるように、お互いの良さや努力に気付けるよう認めたり、声かけしたりしていく。 無理強いせずに自分の意思で参加させるようにする。 実施後にふりかえりをし、各自の良さや努力を共有できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 星空を肉眼や望遠鏡で観察し、大自然の神秘に触れさせる。 	
3 日 目	朝のつどい		野外炊事（ごはんとかレー作り）		退所式			
			<ul style="list-style-type: none"> 班ごとに話し合いながら協力してスムーズに作業が進むようにする。 やけどやけがをしないように、安全面には十分配慮する。 手洗いをきちんとさせたり、食材や調理器具の扱いなど、衛生面にも配慮する。 後片付けまで班で協力してきちんと行わせ、最後にきれいになっているか点検する。 		<ul style="list-style-type: none"> 3日間お世話になった方に感謝の気持ちを持てるようにする。 			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。

プログラム名(テーマ) 体験学習を通してより良い人格を形成しよう

目指す児童・生徒像 仲間を思いやり、自己実現できる児童・生徒

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目	学校集合・出発 7:30 青年の家到着 9:30 開講式 10:00 10:30		10:30から11:00 バスで移動	弁当	登山(地藏岳) 青少年自然の家→団体利用の貸し切りバス→ 新板平～地藏岳山頂～赤城大同→貸し切りバス →青少年交流の家 16:30着 部屋入所	午後 5:30 ～ 6:30	入浴6:30～7:30 キャンドルファイヤー (室内) ～ 友情・人の命・自然の大切さ～ 午後9:30消灯	
			バスを有効活用するためあえてここで登山を組 んでみた。					
2 日 目	6:00 起床 洗面、 6:30～ 6:45 リーダー会議 7:15～ 7:30 朝のつどい	自然 の家 7:30 ～ 8:30	9:00～10:00 「クッブ」のゲームで楽しむ 10:00～12:00 野外炊事、「カレーを作ろう」 集団意識を高め、協力性を高める。 安全・衛生面に十分注意。	カレ ー	AAPをやる。 13:00～16:00 12人×4チーム (講師4人頼む) 部屋で休息 16:30～17:30 (キャンプファイヤー担当の児童と準備)	青少 年の 家 17:30 ～ 18:30	18:30～20:00 キャンプファイヤー 「楽しい思い出作り」 20:30～21:30 入浴 22:00 就寝	
					一人一人の良さを見だしここにいるだれもが 大事であり必要な人間であることを再確認する。		思い出作りをしながら安全確認 火の付け方；工夫したい	
3 日 目	6:00 起床 洗面、 6:30～ 6:45 リーダー会議 7:15～ 7:30 朝のつどい	自然 の家 7:30 ～ 8:30	オリエンテーリング 9:00から11:00 6人×8組	青少 年の 家 12:00 ～ 13:00	片付け・清掃 13:00から13:30 退所式 13:30から14:00 バスにのり帰校 14:30～16:00 解散16:10			
			安全・チームワーク・					

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。